

市民活動サポートセンター機能強化に関する意見のまとめ

(協働まちづくり推進委員会、アクションチーム、サポセンこうなつたらいいっちゃね会議で出されたの意見の要旨)

	分類	現状に対するニーズ・課題に関する意見	具体手法に関する意見	
			ソフト事業	ハード整備
1	認知度・視認性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・認知度が上がるとよい ・施設の様子がわかりづらい ・入口を目立つように、入りやすくしてほしい ・目を引くような看板があればいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットのバージョンアップ・広報強化 ・若者向けのパンフレットを大学等で配付し周知する ・愛称をつけるべき(各フロアごと等) ・キャラクターを活用した広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁に看板を設置
2-1	施設全体のイメージ払拭	<ul style="list-style-type: none"> ・堅いイメージを払拭すべき ・利用者が限定されているイメージがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・1階に入りやすくするためのイベントの開催 ・マチノWEEKのようなオープンな企画を定期的実施 ・フリーマーケットの開催 ・交流会、名刺交換会の開催 ・各種ワークショップの実施 ・いらなくなった本などを提供してもらい、カフェスペースに設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・立地を生かしたもっと使いやすくなるようリニューアル ・5階の交流スペースを1階に移して交流機能を強化する ・カフェやミーティングの場とする ・無料休憩所、キッズスペース等のニーズにあやかった活用
2-2	立地を生かした改善	<ul style="list-style-type: none"> ・立地をもっと生かすべき 		
2-3	多様な主体が集まる場所の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・人の集まる場所・多様な人との交流の場になればいい ・人が集まるような雰囲気のある場所があるといい ・多様な主体が交流できるような夢のあるスペースになるといい ・市民団体だけでなく、お母さんや学生も立ち寄れる場に ・親子にも学生にも来てもらえるように ・エントランスは温かみのある感じにしてほしい ・若者が集まる事業をしてほしい ・若者との交流を増やせるスペースが欲しい ・民間スペースとの連携・企業との出会いの場があればいい 		
2-4	カフェスペースの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェ等の市民活動以外の方も利用できるといい ・関係書籍等をくつろいで読めるようなスペースがあればいい 		
2-5	気付き・ヒントが得られる場	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの仲間を増やせるような、気づきの生まれるスペースがあればいい ・まちづくりや市民活動のきっかけ、ヒントが得られる仕掛けが必要 ・エントランスが、仙台の良い点・悪い点の気づきの場になればいい 		
2-6	回遊性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者が回遊できるような仕掛けづくりが必要 ・入口脇にエレベーターがあるため、1階の奥まで行く機会がない 		
3	団体の活動を紹介できる場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の発表の場や成果物の紹介・販売の場があるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニステージを設置し、多様な発表の場に ・団体による活動内容発表会の開催 ・定期的なミニコンサートの実施 ・気軽に立ち寄れるギャラリー的使い方をする ・チャレンジショップのようなテント一つぐらいのショップに入ってもら 	
4	受付の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・1階にある受付の場所が初めて来た人にわかりづらい ・受付にスタッフが並ぶようにいて奥まで入っていきづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・受付に協働マスターのようなコンシェルジュがいるといい 	<ul style="list-style-type: none"> ・受付を別の階に移す
5	情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・施設での情報発信に映像を取り入れる ・五感を使って訴える映像などを活用すべき ・団体の活動内容やイベント情報を外からも見えるように発信 ・2階へ上る中階段の活用(情報発信) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口付近でのサイネージによるイベントの周知 ・プロジェクター等で仙台の魅力・課題を紹介する ・他の研修室での講演の様子をリアルタイムで投影 	
6	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの変化に対応した機能を備えるべき ・杜の都のサポセンという観点から考えてもいい ・誰でも来ていいとするのではなく、ターゲットを絞るべき ・どのような団体向けの支援をするのか、ターゲットを絞るべき ・これまで利用している人にも利用しやすく ・これまでの市民活動団体への支援の継続も必要 ・他の施設との連携が必要 ・多様な活動と地域をつなげるための役割はどうあるべきか ・公益的な要素やビジネス的要素のあるものをどうとらえるか ・自立から創発へつながるような活動支援をするべき ・取り組むテーマや施策の優先順位をつける ・既成概念にとらわれず、全国の手本となるようなことをやるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の名称を変えてみる ・駐車場の確保 ・階段の壁を活用 ・市民活動団体への寄付受付コーナー ・2階の渡り廊下でパフォーマンス 	